

## 第2回栗東市子ども・子育て会議 会議録要旨

日時・場所	令和5年11月1日（水） 午後6時30分～午後7時45分 栗東市危機管理センター3階大研修室
出席委員	伊吹唯衣委員、中藪麻衣子委員、外柙保貴美子委員、加藤雅也委員、白井洋一委員、井上明美委員、田中裕委員、沖田文子委員、山本初子委員（副会長）、井上和子委員（会長）、長岡由美委員
欠席委員	山守慎介委員、木築野百合委員、山中忍恵委員、中川章子委員、北村一子委員
事務局	こども家庭局長、幼児課長、幼児課係長、こども家庭センター所長、子育て支援課長、子育て支援課係長、子育て支援課子育て支援係担当
事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市民憲章唱和</li> <li>3 挨拶</li> <li>4 議事               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第3期栗東市子ども・子育て支援事業計画策定について【資料1】</li> <li>(2) 栗東市立園の認定こども園化について【資料2】</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>

### 1 開会

・事務局より傍聴希望者がいなかったことを報告した。

### 2 市民憲章唱和

### 3 挨拶

・会長が挨拶を行った。

### 4 議事

#### (議事1)

#### 第3期栗東市子ども・子育て支援事業計画策定について【資料1】

・事務局が資料の説明を行った。

委 員 各委員から意見をいただきたいとの事だが、別途期限等を設け、意見を提出できるのか。

事 務 局 後日、意見聴取を行うことを予定している。

委 員 第2期計画策定に係るニーズ調査の設問項目について、未就学の子どもの保護者を対象に、定期的に利用したい事業を聞いた設問がある。市内の事業と市外の事業に区分して選択肢を選ぶ様式となっているが、わかりにくいのではないか。

事 務 局 精査した上で設問設定をしていく。

ニーズ調査票には、国で定められた設問項目と市独自で定められる設問項目がある。そのため、本会議では、主に後者の項目について設問項目案をお伺いしたい。また、第2期計画に係るニーズ調査票全体

についてもお気づきの点があればお伺いしたい。

- 委員 今後、栗東市では公立園の認定こども園化を進めていくという意向を示されているが、第2期計画に係るニーズ調査票では認定こども園についての記載がない。認定こども園についての記載を取り入れた方がよいのではないか。
- 事務局 第2期計画策定に係るニーズ調査票の市独自の設問に、子育てのしやすさを問う設問がある。その中で子育て環境についての選択肢を多くあげているが、子育てが楽しいか、苦しいことがあるか等、保護者の感情的な部分を問う設問や選択肢を設定することで、子育てに関する支援策を考えることができると思う。
- 事務局長 子育てに対する保護者の思いを問う設問は、別の問いで設定がある。
- 事務局 第3期計画策定に係るニーズ調査票作成時には、栗東市独自の設問として、子育て環境を問う部分と保護者のニーズや思いを問う部分に分けて、設問が設けられるかどうかを検討していきたい。
- 会長 ニーズ調査票が完成した時点で委員に配布し、再度意見聴取を行う予定であるということによいか。
- 事務局 第3回会議でニーズ調査票について改めてご意見をいただき、決定する予定である。第3回会議前には調査票（案）を配布し、十分見ていただける時間を取りたいと考えている。

## （議事2）

### 栗東市立園の認定こども園化について【資料2】

- ・事務局が資料の説明を行った。

- 委員 資料2について、金勝第1幼児園は利用定員が280名から200名に減っているが、十分に対応できるのか。
- 事務局 同資料下段の令和6年度から適用する事項については、入所調整については公立も法人立も全園適用されているが、それ以外の項目については、公立のみということによいか。
- 事務局長 金勝第1幼児園の利用定員については、人数の動向等踏まえて200名の定員としても問題ないという見通しをもっている。
- 委員 令和6年度から適用する事項については、入所調整を除いて、公立園のみを対象としている。
- 会長 公立園の幼稚園籍の子どもについては、資料2の令和6年度から適用する事項に記載された内容が適用されるということだが、法人立の幼稚園籍の子どもには適用されないのか。
- 委員 適用されないのではなく、内容が少し異なるということである。幼稚園籍の3歳児の午後保育等の開始時期や預かり保育料の料金設定、

給食の副食費の設定などが異なる。

副 会 長                    資料2の長期休業期間中の預かり保育の備考欄について、夏季休業日以外は、モデル園での実施状況を見ながら検討とあるが、冬期休業日や学年末、学年始休業日についても随時取り入れていくということか。

事 務 局                    令和6年度に関しては夏季休業日の期間のみで考えている。職員体制も関係するため、様子を見ながら冬休みや春休みについても拡大をしていきたいと考えている。

副 会 長                    子どもや保護者の立場からすれば長期休業期間中の保育はありがたいと思うが、職員の確保が課題とされている中では、どうなのかと考えている。

事 務 局                    職員体制も重要であり、受け入れ体制が整っていないのに事業だけ実施することはできないと考えている。現場の職員とも相談しながら進めていく。実際にモデル園で実施した段階でどのような課題が出てくるかを踏まえながら、次につなげていきたいと考えている。

## 8 その他

次回の会議日程について

- ・次回の会議は、12月か1月頃に開催する予定をしている。

## 9 閉会

- ・副会長が挨拶を行った。

以上